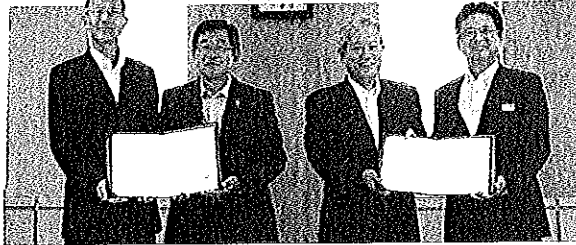


災害時の技術者確保

県測量設計業協会

災害時における応援に関する協定締結式

公益社団法人 鹿児島県測量設計業協会
一般社団法人 静岡県測量設計業協会



静岡県協会と応援協力協定

県測量設計業協会(安永幸信会長)は3日、静岡県測量設計業協会(杉山博会長)と

大規模災害時に備えた応援協力に関する協定を締結した。写真。同時災害のリスクが少

ないことから有効と判断し合意。災害時の技術者不足に対応し、情報共有を図る。九州各県等とは協定を結んでいるが、九州外での支援協定締結は初めて。

域災害に備え、測量・設計に携わる技術者の確保が狙い。災害発生後の応急対策や復旧に必要な技術者の派遣などを行う。両県では2011年に相互応援協定を締結していることや静岡県との間には、飛行機の直行便があることなどから、締結先として選んだ。静岡県協会では、熊本県測量設計コンサルタンツ協会に次いで2例目。

静岡県庁で行われた締結式では、県土木部の九万田伸一次長と静岡県交通基盤部の村松篤部長の立ち会いのもと、安永会長と杉山会長が協定書に調印し、固い握手が交わされた。安永会長は「災害対応においては、何事も備えあれば憂いなし」と考える。両県民の安全・安心な生活に貢献できるように取り組んでいきたい」と語った。これに対し杉山会長は「迅速に対応できるように平時より交流に努めたい」と話した。

また、九万田次長は「県協会がこれまで蓄積した技術的能力・機動力は、必ず役立つものと確信している。相互支援が円滑なものになるよう情報共有を